

授業科目 障害者福祉論Ⅰ

【担当教員名】 野口 晃	対象学年	2	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○
【概要・一般目標：GIO】 障害者福祉は、縦軸と横軸との総合的視野から理解することが大切である。縦軸として、障害者福祉の歴史的展開と考え方の経緯等を把握し、今日の障害の概念や障害者の実態と支援のための基本的理念を理解する。また、横軸として障害に関連する福祉、医療、教育、国際社会等の分野の制度や支援策等を学び、福祉専門職としての視野を広げる。さらに、障害者に共通の各種福祉サービスについて障害者関係法や制度を学び、問題解決のための実践的知識として生かす。障害者保健福祉施策の現状を体系的・総合的に学習する。				
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 障害者福祉の考え方と理念を学び、障害者の人格の尊重と多様な生き方について理解する。 2. 障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や福祉需要等について理解し、専門的思考と判断力の土台を形成する。 3. 障害者の福祉・介護に係る法制度の概要について理解し、社会福祉士として必要な専門的知識と教養を獲得する。 4. 障害者福祉サービスや、支援の社会資源について学び、実際の支援の方法を理解し問題解決能力を高める。 5. 障害者総合支援法の組織・機関の役割と実際について学び、問題解決のための実践的知識として生かす。 6. 障害の基礎について理解し、障害の医学的側面の基礎を学び、現場での実践の土台とする。				
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢について学ぶ		1, 2, 6	講義
2	障害者福祉の考え方及び障害とは何かについて福祉、医学等多様な側面から理解する。		1, 2, 6	講義
3	ノーマライゼーションの理念の実現に向けた取り組みを学ぶ。		1, 2, 6	講義
4	障害者福祉の国際的動向について学ぶ。		1, 2	講義
5	障害者の法体系、障害者基本法について学ぶ		3	講義
6	身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健福祉法の概要について学ぶ		3	講義
7	障害者虐待防止法、発達障害者支援法等の概要について学ぶ		3	講義
8	障害者の法体系と各省庁の障害者施策について学ぶ		3, 5	講義
9	障害者総合支援法及び障害者自立支援制度の内容について理解する		3, 4, 5	講義
10	障害者自立支援給付の実際、支給決定の仕組みとプロセスについて理解する		3, 4, 5	講義
11	補装具、自立支援医療、地域生活支援事業等について学ぶ		3, 4, 5	講義
12	障害者自立支援の最近の動向、相談支援について理解する		3, 4, 5	講義
13	障害児への支援と障害児福祉施策の現状及び家族への支援について学ぶ		3, 4, 5, 6	講義
14	障害者にかかわる組織及び機関の役割と実際を理解する		1, 3, 4, 5	講義
15	障害者総合支援法のまとめ		1, 3, 4, 5, 6	講義
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	障害者に対する支援と障害者自立支援制度	福祉士養成講座編集委員会	中央法規	2,310円・最新版
参考書	社会福祉小六法		中央法規	1,680円・最新版
その他の資料				
【評価方法】 1. 出席状況、2. 振り返りレポート・小テスト、 3. 期末試験等を総合して評価する。		【履修上の留意点】 社会福祉専門職を目指す学生にとって必須の専門科目であるので 目的意識を明確にして主体的かつ積極的に学んでほしい。		